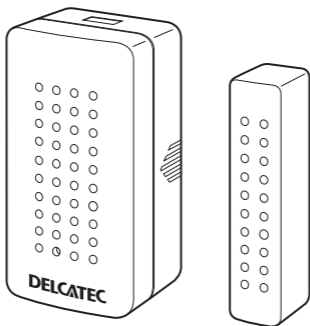


# DELDATEC

# 取扱説明書

## WSS シリーズ用ドアセンサー WSSDS

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。



保証書付

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本製品のみでは使用できません。WSSシリーズのワイヤレスフルHDカメラセット(WSS10M1C、WSS7M2C)またはスマート受信BOX(WSSNM)をお買い求めください。

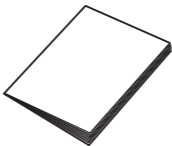
本書で記載している液晶モニターのイラストや操作は、別売のセンサーライト付ワイヤレスフルHDカメラ&10インチモニターセット(WSS10M1C)を主に説明しています。

ワイヤレスフルHDカメラ&7インチモニターセット(WSS7M2C)またはスマート受信BOX(WSSNM)をご使用の場合は、それぞれの取扱説明書もあわせてご確認ください。

## もくじ

付属品	3
安全上のご注意	4
お取り扱いの前に	10
922MHz 帯について	12
各部の名称とはたらき	13
電源を入れる(電池を入れる)	15
本製品をペアリング(登録)する	18
■ WSS シリーズの液晶モニターにペアリング(登録)するとき	19
■ スマート受信 BOX にペアリング(登録)するとき	22
使いかた	23
■ WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX にペアリング(登録)した情報を確認するとき	23
■ 本製品の登録を解除するとき	25
■ 本製品の検知方法および検知解除方法	26
■ センサーの検知履歴を確認したいとき(イベントビューアー)	29
■ アラートモードの設定を確認する	31
■ アラートモードを設定するとき	32
本製品を設置する	35
■ 設置について	35
■ 本体とセンサーの設置方法	35
■ 設置する	36
取り付け例	37
動作確認	38
故障と判断する前に	39
規格表	41
外形寸法図	42
保証書	43

## 付属品



取扱説明書……1冊

### 注意

- 本製品には、単 4 乾電池は付属しておりません。
- 単 4 アルカリ乾電池 2 本は市販品を別途ご用意ください。

## 安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

 一般的な 注意事項	 分解 禁止	 抜き取り 指示	 接触 禁止
 ぬれ手 禁止	 一般的な 禁止事項	 指示を 守る	



### 警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いにより使用者が死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示しています。



**煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用しない**

火災や感電の原因となります。すぐに、乾電池を抜いてください。



**製品を分解・改造しない**

感電やけがの原因となります。また、製品の性能が維持できなくなり、故障の原因となります。また、分解したり改造したりすることは法律で禁じられています。



### 以下の環境に設置しない

変形や火災、感電など事故の原因となります。

- 火のそば、直射日光が当たる場所、炎天下の車内などの高温になる場所
- 屋外・風呂場・洗い場・水がかかる場所
- エアコンの吹き出し口の水滴り落ちる場所



### 以下の場所に設置しない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

- 強度の弱い場所
- 不安定な場所
- ぐらついたり振動したりする場所
- 傾いた場所
- ほこり・油煙・湯気・湿気の多い場所



### 本製品は防水構造ではありません


濡れた手で本製品に触れないでください

感電や故障の原因となります。





本製品は屋内専用です。製品内部に水などが入った場合や、落として破損した場合は、乾電池を抜く


万一、内部に水などが入った場合は、まず本製品の乾電池を抜き、販売店・カスタマーセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

 **水、洗剤、揮発性溶剤、液体薬品などの液体を使用してお手入れしない**

液体が本製品内部に入ると発熱、感電、火災、故障などの原因となります。


 **長期間使わないときは、乾電池を抜く**  
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。


 **使い切った電池は、すぐに本製品から取り出す**  
発熱・破裂の原因になります。

 **次のような場所や条件では、人体や医療機器などに影響を与える場合があるため、取り付けない**

- ・病院など特定の電波の使用を禁止された区域
- ・医療用電気機器の近く(手術室、集中治療室など)
- ・自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
- ・心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の位置

誤動作による事故の原因となります。

 **異常に温度が高くなるところに設置しない**  
温度が高くなりすぎると、火災、電池の液漏れの原因になることがあります。

 **本製品を高所に取り付けるときは、足場と安全を確保する**  
落ちたりすべったりして、けがの原因となります。



## 電池は正しく扱う

破損、破裂、液漏れ発熱による火災や感電の原因となりますので、次の事項を必ずお守りください。



- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。早めに新しい電池と交換してください。(寿命は通常6ヵ月～1年が目安です)
- 電池を傷つけたり、分解したりしない
- 電池を火中に投げ入れない
- 電池の⊕極と⊖極をショートさせない
- 単4形乾電池以外は使用しない
- 異なる種類の電池を混用しない
- 新しい電池と古い電池を混用しない
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す



電池から液漏れした場合、漏れた液には直接触らないで布や紙でよく拭き取ってください。

- 電池の液が目に入った場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。



乳幼児の手の届く場所に電池やセンサーを置かない  
乳幼児が電池やセンサーを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。





## 注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



### 結露について

以下のような温度差の激しいところに設置すると本機内部に結露が起こる場合があります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電池を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

- 暖房をつけた直後
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき
- 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき

寒冷地区でのご使用の場合は、特に結露にご注意ください。



### 窓やドアの開閉時に指などをはさみこまないように注意する

けがの原因になります。



### 本製品を確実に固定する

固定に不備があると、商品が落下し、けがや床面・他の物品を破損するおそれがあります。



壁紙や塗装面など両面テープに弱い面(表面がはがれやすい場所)には設置しないでください  
他の物品を破損するおそれがあります。

## お取り扱いの前に

**設置作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行ってください。**

- 本製品は、WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX の専用品です。
- WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX をご準備ください。
- 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電時の外部要因によって生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 地震、雷、風水害などの天災、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失および誤用、取り付け不備、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本装置の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本製品は屋内専用です。

## 取り扱い時のご注意

- 定期的に点検してください。  
製品が落下していたりすると、誤飲食するおそれや、本製品が機能しなくなることがあります。
- 本製品と WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX の距離を離しすぎたり、その間に次のような障害物があると、電波が弱くなり使えないことがあります。
  - 金属製のドアや網戸
  - アルミ箔入りの断熱材が入った壁
  - 本製品と WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX を別の階や家屋で使うとき
  - 壁を何枚も隔てたところ
- 直射日光が当たる場所に設置すると、本体が変色するおそれがありますが、性能上問題はありません。

## 922MHz 帯について

本製品の電波周波数帯は922MHz帯を使用しています。

- 本装置は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本装置をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

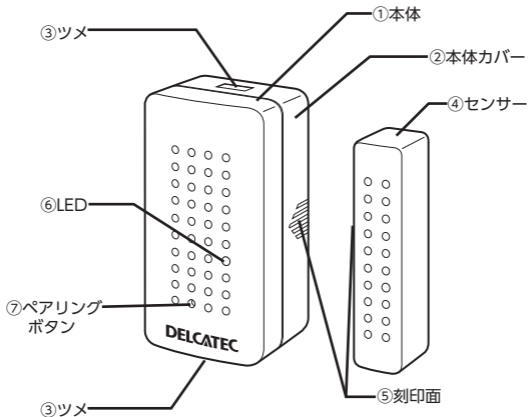
922MHz 帯は特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

本装置を使用する前に、近くで特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。



このマークが目印です

## 各部の名称とはたらき



### ① 本体

電池を入れるまたは交換するときに、取り外します。

### ② 本体カバー

本体カバーに貼り付けている両面テープでドアや引き戸の壁側などに貼り付けます。

### ③ ツメ

本体を取り外すときに、ツメ(2か所)を押さえます。

### ④ センサー

本体と離れることで検知します。

### ⑤ 刻印面

本体とセンサーの刻印面が離れることで検知します。

### ⑥ LED

本製品のLEDは下記の状態になります。

- 電池を入れたとき：赤色点滅(1回)
- ペ어링が成功したとき：赤色点滅(3回)
- 本製品が検知したとき：赤色点灯(約1秒)

### ⑦ ペ어링ボタン

WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信BOXとペ어링するときに細長いもので押します。

## 電源を入れる（電池を入れる）

- ① ツメ（上側）またはツメ（下側）を押します。
- ② 本体を手前に引いてから取り外します。

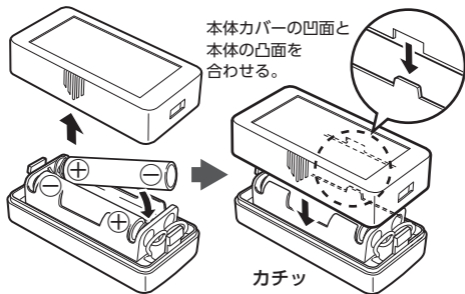




- ③ 単 4 形乾電池 (2 本) (市販品) を ⊖ 側から入れます。

**重要** 電池を入れたときは、LED が約 1 秒赤色点滅します。必ず確認してください。

- ④ 本体に本体カバーを取り付けます。  
本体に本体カバーを取り付けるときは、カチッと音がして、外れないことを確認してください。
- ⑤ 本体と本体カバーに隙間がないことを確認してください。



**重要** 本体カバーの凹面と本体の凸面を必ず合わせてください。  
本製品が正常に動作しない恐れがあります。

## 警告



**使い切った電池は、すぐに本製品から取り出す**

そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。

## 注意

- 電池は⊕と⊖の向きを確認し、正しく差し込んでください。
- 電池はアルカリ乾電池をご使用ください。
- 本製品に液状のものをかけないでください。
- 本製品を落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に設置しないでください。
- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。本製品が動作しにくくなったり、電池残量の低下警告が液晶モニターに表示されたり(➡ 30 ページ)、電波が届かなくなったりしたら 2 本とも新しい乾電池と交換してください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示(条例)に従って処理してください。

## 本製品をペアリング(登録)する

本製品を WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX にペアリング(登録)しないと使用できません。

ペアリング(登録)の方法は、下記の手順に従って行ってください。

WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX の操作方法については、ご使用の WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX の取扱説明書をご確認ください。

- 複数台のセンサーをペアリング(登録)する場合は、1 台ずつペアリング(登録)してください。
- 最大 8 台までペアリング(登録)できます。

### 重要

複数台をペアリング(登録)する場合は、本体に番号をつけてわかるようにしておいてください。液晶モニターには番号のみが表示されます。

## ■ WSSシリーズの液晶モニターにペアリング(登録)するとき

**重要**

本製品と液晶モニターまたはスマート受信BOXをできるだけ近づけた状態で行ってください。

**1** WSSシリーズの液晶モニターの電源を入れる

**2** 液晶モニターの<sup>↑</sup>を押す  
メニュー画面が表示されます。

**3** 「カメラ & センサー」  
をタップする  
カメラ設定画面が表示されます。



**4** <sup>↑</sup> (リモートホームコントロール)を  
タップする

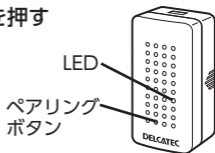


## 5 (ペアリング) をタップする

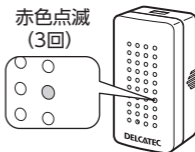


## 6 本製品のペアリングボタンを押す

手順5のペアリングをタップした後、30秒以内に細長いもので押し続けます。



## 7 LEDが赤色点滅(3回)した後、 ペアリングボタンを離す





## 8 液晶モニターのが水色で点灯します。



### 水色点灯

ペアリング(登録)した台数が表示されます

ペアリング(登録)が失敗すると

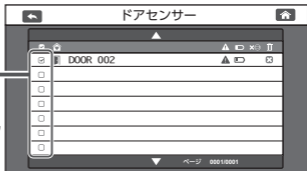
 が表示されます。再度、ペアリングをやり直してください。

液晶モニターに表示される画面または使いかたについては、「使いかた」(23 ページ)をご確認ください。

### 重要

ペアリング(登録)したあとは、アラートモードの設定でになっていることを確認してください。(➡ 31 ページ)






- : アラート音が鳴ります
- : アラート音が鳴りません (センサーが検知すると履歴は残ります)



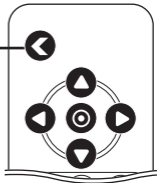
■ **スマート受信BOXにペアリング(登録)するとき**  
スマート受信BOXにペアリング(登録)するとき、スマート受信BOXに付属のリモコンをご使用ください。

**1** スマート受信BOXの電源を入れる

**2** リモコンのメニューボタンを押す  
メニュー画面が表示されます。

このあとの手順は、「WSS  
シリーズの液晶モニター  
にペアリング(登録)する  
とき」(19～21ページ)  
の手順**3**から**8**と同じ  
ですが、項目を選択する  
ときは、  
で選択し、を押します。

メニュー  
ボタン



## 使いかた

本製品を WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX にペアリング(登録)した後、本製品を使用することができます。

### ■ WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX にペアリング(登録)した情報を確認するとき

#### 1 をタップする



#### 2 登録したセンサーの情報を確認する メニュー画面が表示されます。

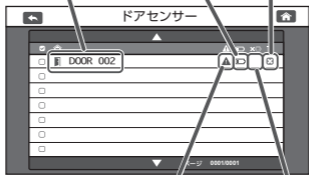
**重要** 検知した結果は表示されません。検知した結果は、イベントビューアーにて確認ください。



センサーの電池残量が低下したときに表示します  
非表示：電池残量は十分です  
🔋：電池の交換をお勧めします

登録されているセンサーの番号を表示します  
※変更できません

登録したセンサーを1台ずつ削除します  
✕をタップすると削除します  
(別売のスマート受信BOX (WSSNM) をご使用の場合は、📷(録画/データ消去ボタン)を押します)



センサーが検知したときに表示します  
非表示：センサーの検知なし  
▲：センサーが検知しました

センサーの接続状態を表示します  
非表示：接続済み  
✕□：未接続

## 重要

🔋 (電池残量) または ✕□ (接続状態) は、1時間15分間隔で電池残量や接続状態を検知するので、電池残量が低下したり、本製品が未接続になっても、すぐにモニターに表示されません。

## ■ 本製品の登録を解除するとき

登録しているすべてのセンサーを一括で削除します。  
(センサーの種類に関係なく一括で削除されます。1台  
ずつ削除するときには、24 ページをご確認ください)

### 1 をタップする



### 2 をタップする



## ■ 本製品の検知方法および検知解除方法

センサーと本体が離れたとき、または近づいたときに検知します。

- 1 センサーと本体が離れたとき、または近づいたときに、本体のLEDが赤色点灯し、液晶モニターまたはスマート受信BOXに表示します。

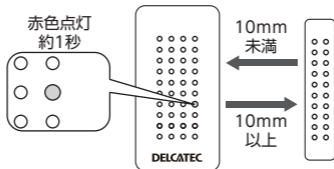
### ・本製品の動作

- センサーと本体が 10mm 以上離れる

LED	約 1 秒点灯 (赤色)
液晶モニターまたはスマート受信BOX	アラート音が鳴る

- (離れた後) センサーと本体が 10 mm未満に近づく

LED	約 1 秒点灯 (赤色)
液晶モニターまたはスマート受信BOX	アラート音が鳴らない



## ・モニターの動作

本製品がセンサーと本体が離れたことを検知したときはアラート音が液晶モニターまたはスマート受信BOXから鳴ります。


**重要** センサーと本体が近づいて検知したときは、アラート音が鳴りません。

### 1 ライブビュー画面のアイコンが赤色で点滅し、アラート音が鳴ります。



ライブビュー画面の表示例



のいずれかのアイコンが赤色点滅します


 はアラートモードで設定をしたセンサーが検知したときのみ表示されます。  
(出荷時は本製品のみを検知します)



- 2** ライブビュー画面のアイコンをタップして、リモートホームコントロール画面の  をタップしてください。アイコンと  の点滅を解除できます。  
(別売のスマート受信BOX (WSSNM) をご使用の場合は、スマート受信BOXに付属のリモコンを操作して、リモートホームコントロール画面にて点滅を解除してください。)



**重要**

- アラート音は自動では止まりません。モニターをタップ後、アラート音が止まりますがアイコンと  の点滅は解除されません。
- アラート音量は、液晶モニターまたはスマート受信BOXで設定することができます。

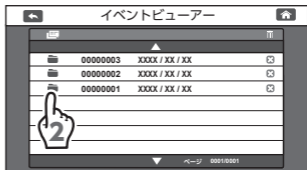
## ■ センサーの検知履歴を確認したいとき（イベントビューアー）

microSD カードまたは外付けハードディスクが WSS シリーズのモニターセットまたはスマート受信 BOX に挿入されていないときは、履歴が残りません。

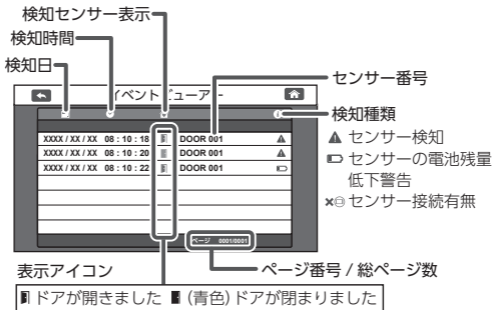
### 1 (ログ) をタップする



### 2 確認したい日付けの (フォルダ) をタップする



※ライブビュー画面のアイコンは他のセンサーを検知しても赤色点滅します。



## 重要

- 🔋 (電池残量) または ⊗⊙ (接続状態) は、1 時間 15 分間隔で電池残量や接続状態を検知するので、電池残量が低下したり、本製品が未接続になっても、すぐにモニターに表示されません。
- 履歴の保存期間は、7 日間です。7 日間を過ぎた履歴は、自動で消去されます。

## ■ アラートモードの設定を確認する

アラート音が鳴る設定になっていることを確認してください。

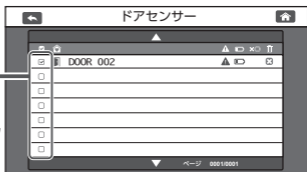
センサーごとに設定を変更したいときは、「アラートモードを設定するとき」を確認してください。

### 1 をタップする



### 2 があることを確認する

- : アラート音が鳴ります
- : アラート音が鳴りません  
(センサーが検知すると履歴は残ります)




**重要** ホームモードに設定すると、 をタップすることで設定を「アラート音が鳴る」または「アラート音が鳴らない」に切り替えることができます。(⇒ 32 ページ)



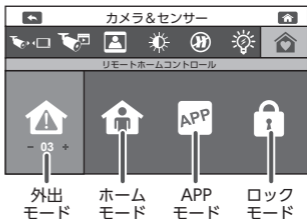
## ■ アラートモードを設定するとき

センサーの設定を1台ずつ「アラート音が鳴る」または「アラート音が鳴らない」に切り替えることができます。

- 1  (リモートホームコントロール)をタップする




- 2 設定したい項目をタップする



## ライブビュー画面の表示例



のいずれかのアイコン  
が表示される

 はアラートモードで設定をしたセンサーが検知したときのみ表示されます。  
(出荷時は本製品のみを検知します)



### ● (外出モード)

ペアリングしているすべてのセンサーが「アラート音が鳴る」()になります。このモードにすると、「アラート音が鳴らない」()に設定することはできません。すべてのセンサーが作動するまでの時間を設定できます。- / +をタップして0～30分の間で設定します。

### ● (ホームモード)



このモードで本製品をペアリングしたときは、「アラート音が鳴る」に設定されています。ペアリングしているすべてのセンサーを「アラート音が鳴る」() / 「アラート音が鳴らない」()に設定を

変更することができます。を設定したセンサーが作動するまでの時間を設定できます。




− / + をタップして 0 ~ 30 分の間で設定します。「アラート音が鳴らない」()にするときは、31 ページを参照してください。




このモードを使用するときは「アラート音が鳴る」() / 「アラート音が鳴らない」() の設定を確認してください。

## ● (APP モード)

ペアリングしているすべてのセンサーを専用アプリから一括または 1 台ずつ制御しているときにライブビュー画面に  が表示されます。(リモートホームコントロール画面で  をタップして選択することはできません。)

## ● (ロックモード)

 ペアリングしているすべてのセンサーが OFF になります。タップすると  →  に切り替わります。センサーとの接続は OFF になりますが、センサーの電源は OFF になりません。

 ペアリングしているすべてのセンサーが外出モード / ホームモード / APP モードで作動します。外出モードまたはホームモードをタップすると  →  に切り替わります。

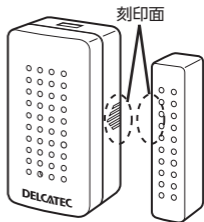
## 本製品を設置する

### ■ 設置について

- 本製品を両面テープで固定、設置する前に必ず仮固定をして、センサーが検知したことをモニターで確認してください。
- 本製品を取り付ける場所の汚れなどを落とし、ぬれている場合は、乾かしてから両面テープを貼り付けてください。
- 凸凹のある場所に貼り付けると両面テープの接着面が小さくなり、本製品が落下するおそれがあります。
- 壁に取り付けるときは、壁の厚みや壁の種類を確認してください。
- 取付方法については、「取付け例」(37 ページ)を参考に取付場所や取付方法を確認してください。

### ■ 本体とセンサーの設置方法

本体とセンサーのそれぞれの刻印面が同じ面に向くように設置してください。刻印面が同じ面に向いていないと本製品は検知しません。



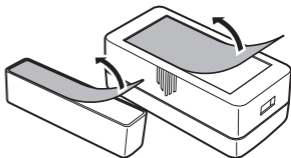
## ■ 設置する

### ① 仮固定する

本製品の両面テープを使用する前に、設置したい場所に仮固定して、本製品が正しく動作することを確認してください。

### ② 本設置する

製品に貼り付けている両面テープの剥離紙を剥がして、取り付けたい場所に貼り付けます。

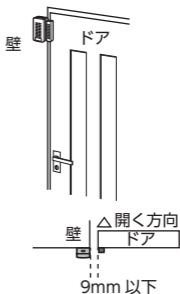
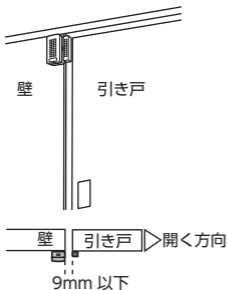


### ⚠ 注意

- 平らな面に取り付けてください。
- 取り付け場所のほこり・汚れ・保護つや出し剤などを中性洗剤でよく拭き取り、洗剤成分が残らないように水拭きして完全に乾かしてから貼り付けてください。
- 両面テープは貼り付け後、約 24 時間を経過すると粘着力が最大になりますので、すぐにひっぱらないでください。
- 貼り直しは粘着力の低下を招きますのでお避けください。
- 素材をいためるおそれがあるので壁のクロスなどには貼り付けないでください。
- 本製品を窓やドアなどに両面テープで貼り付けたあと、一定時間経過してはがすと粘着剤のノリ残りがつきます。取り付けには十分に気を付けてください。

## 取り付け例

- 本製品の本体およびセンサーは、ドア、窓、サッシまたは壁などに取り付けることができます。
- ドアおよびドア枠などの形状により取付方法が異なります。取り付けるときは本体とセンサーの距離は9mm以下になるように取り付けてください。
- 鉄製のドアの場合は、センサーが鉄の影響を受けて検知距離が短くなりますので、取り付けるときは、事前に動作確認をしてください。
- 刻印面の高さを揃えて取り付けてください。




## 動作確認

- 本製品を設置したあとは、本製品が検知して、WSS シリーズの液晶モニターまたはスマート受信 BOX が受信することを確認してください。



## 故障と判断する前に

アラート音が鳴らない	接続機器とペアリングできていますか？
	電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？
	本体とセンサーが離れすぎてませんか？
	ロックモードが  (OFF) になっていませんか？
	外出モードの時間を設定していませんか？ (➡ 33 ページ)
	ホームモードの時間を設定していませんか？ (➡ 33 ページ)
	液晶モニター側でアラートのボリュームを消音(ミュート)にしていませんか？
	接続機器と本製品が離れすぎていませんか？設置場所を変更してみてください。
アラートモードの設定が「アラート音が鳴らない」( <input type="checkbox"/> ) になっていませんか？	
アラートが止まらない	液晶モニターの画面をタッチしてください。



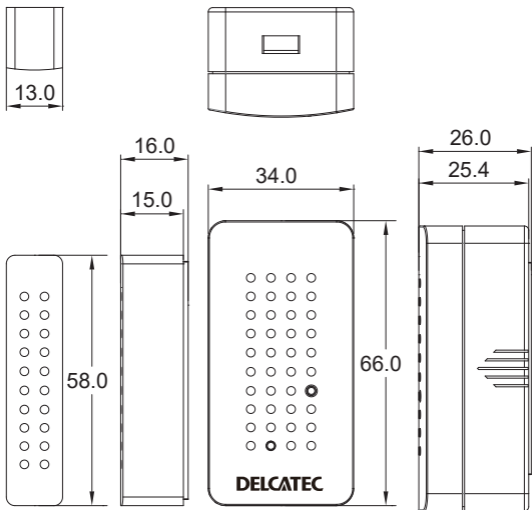
<p>センサーが反応しない</p>	<p>本体とセンサーの刻印面が同じ面に向いていますか？</p> <p>設置場所で接続機器と本体が 10 mm以上離れていませんか？</p>
<p>イベントビューアーに検知履歴が残らない</p>	<p>microSD カードが WSS シリーズのモニターセットまたはスマート受信 BOX に挿入されていますか？</p>

## 規格表

型番	WSSDS
通信方式 / 変調方式	922MHz/FSK
登録台数	最大 8 台
見通し通信距離 (m)	最大 100 (電波妨害のない環境において) (➡ 11 ページ)
使用温度範囲 (°C)	0 ~ +40
検出範囲 (mm)	約 10
電池	単 4 電池 2 本 (アルカリ乾電池推奨)
電池寿命	約 1 年 (200 回 / 日)
送信出力 / 受信感度 (dBm)	9 / -92
外形寸法 (mm)	本体 : W34 × H66 × D26 センサー : W13 × H58 × D16
質量 (g)	本体 : 約 25 (電池含まず) センサー : 約 13

仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

## 外形寸法図



単位：mm

※本製品を廃棄するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

製品に関する  
お困りごとを解決!

# DXサポ!

DXアンテナ サポートポータル

スマートフォンで  
各種設定方法が  
わかる➡



ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。  
QRコードからアクセスしてください。

[1015]

## 保 証 書

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

### ●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)  
したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様の自己負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。②お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、高周波)や異常電圧による故障および損傷。④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。⑥本保証書を提示・添付されていない場合。⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用していただく場合がございますので、ご了承ください。

<b>WSSDS</b>	
ご住所・ご店名	
電話( ) - ( )	

お買上年月日	保証期間	お買上日から
年 月 日		1 年 間
フリガナ		
様		
〒		電話( ) - ( )

カスタマーセンター

【土・日・祝日もご利用ください!】



0570-033-083

DXアンテナ株式会社

受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休日は除く

一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

※全国一律料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1909)

ホームページアドレス  
<https://www.dxantenna.co.jp/>